

新調前 ⇨



新調後 ⇨



# 天井画 鮮やか“復活”

熊本市東区戸島の日向上天満宮の拝殿の天井画が約150年ぶりに新調され、4日あった春祭り「風祭」でお披露目された。色鮮やかに“復活”した草花の絵を、地域住民たちが鑑賞した。

天井画は江戸末期の1864年制作と伝えられている。43号角の杉板16枚それぞれにキキョウやスイセンなどの草花が描かれていたが、経年劣

熊本市・日向上天満宮

## 150年ぶり新調



約150年ぶりに新調された拝殿の天井画を眺める氏子ら  
＝熊本市東区

化でほとんど輪郭を残すのみとなっていた。

2012年に修復の機運が高まり、当時の氏子総代で元高校教諭の米満昭さん(73)が、崇城大芸術学部の中村賢次教授に依頼。傷みが激しく修復は難しいことが判明し、昨年4月から教授監修の下で、教え子2人が原画を書き写すなどして復元作業にあたった。

文献などを参考に、ゼニアオイのピンクの花や、淡い青色が特徴的なキキョウなど当時の色合いを再現。祭りに集まった30人ほどが完成した絵を見上げ、「きれいかね」と喜んだ。米満さんは「素晴らしい出来。これからも地域の宝として守っていききたい」と話した。

(石本智)